
適正な下水道使用料について

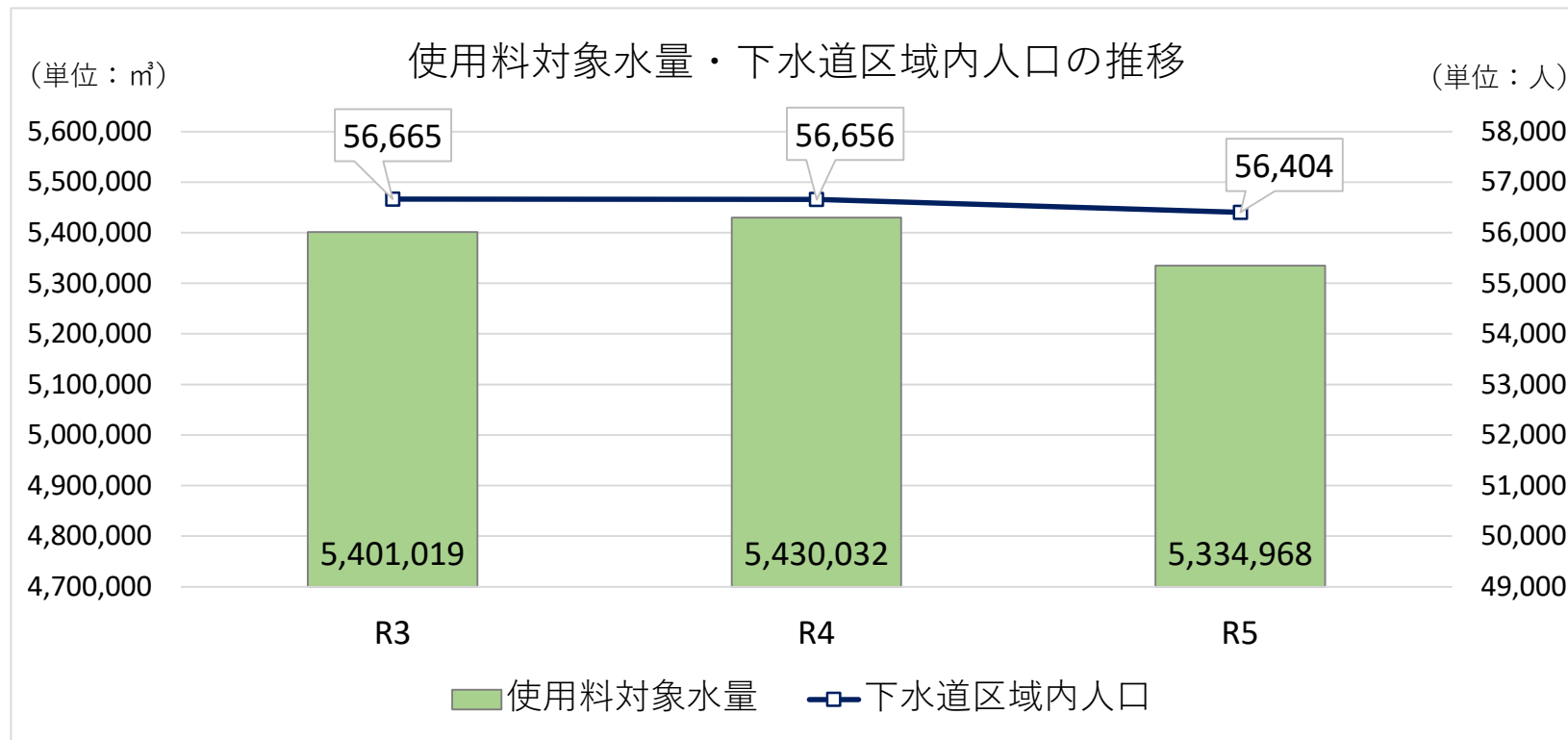
～ 下水道使用料見直しの必要性について ～

経済建設部下水道課

目次

1. 豊明市の下水道事業
 2. 下水道の役割と経費の負担
 3. 豊明市の下水道使用料
- まとめ
-

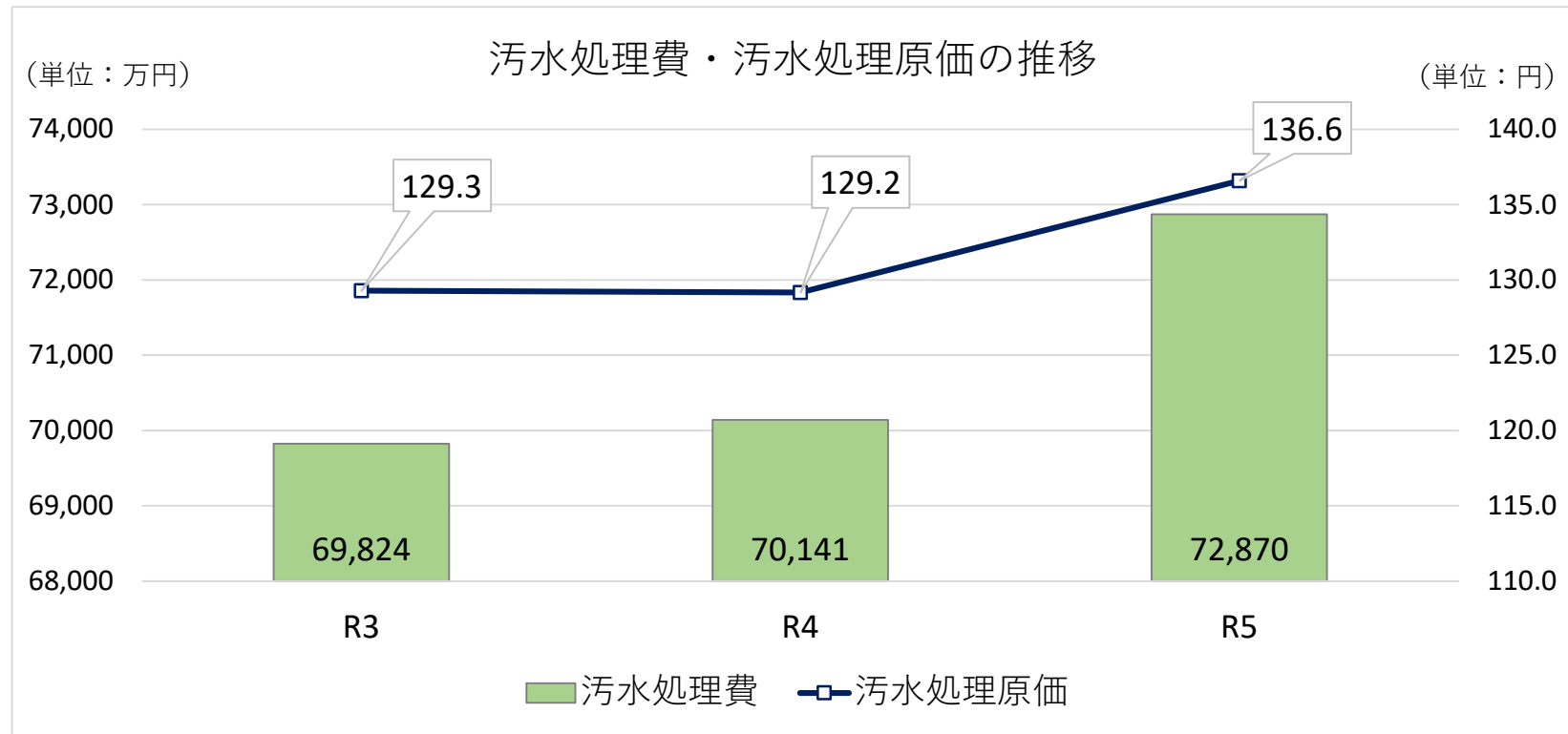
1. 豊明市の下水道事業(1/3)



⇒「使用料対象水量」「下水道区域内人口」とともに減少傾向。

※ R3年度後半に集中浄化槽地区を公共下水道事業に統合したことにより、R4年度は使用料対象水量が増加した。

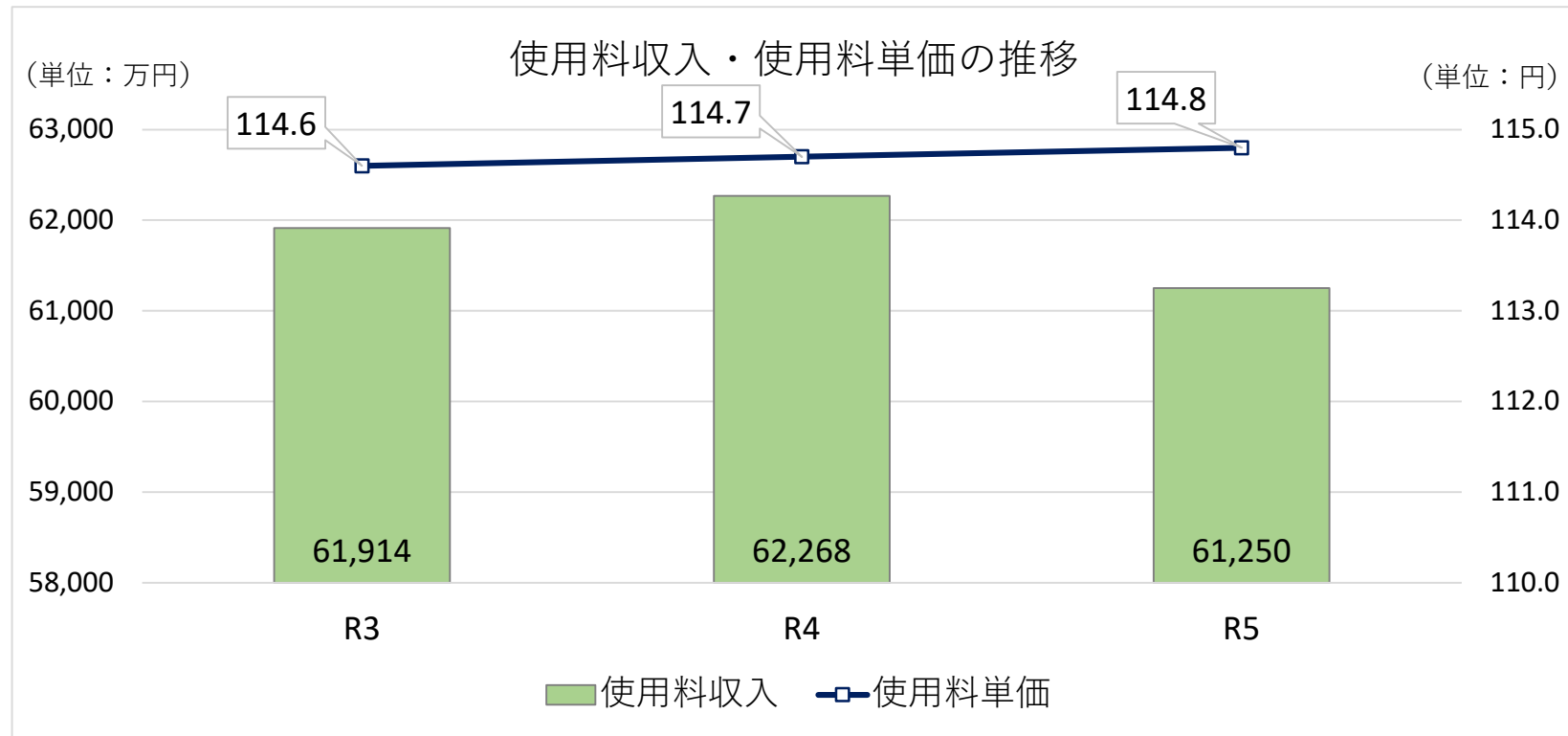
1. 豊明市の下水道事業(2/3)



汚水処理原価とは、使用料対象水量1m³あたりの汚水処理費を示す。(汚水処理原価＝汚水処理費÷使用料対象水量)

⇒「汚水処理費」「汚水処理原価」とともに増加傾向にある。

1. 豊明市の下水道事業(3/3)



使用料単価とは、使用料対象水量1m³あたりの使用料収入を示す。(使用料単価＝使用料収入÷使用料対象水量)

⇒「使用料収入」は減少傾向、「使用料単価」はほぼ横ばい。

※ R3年度後半に集中浄化槽地区を公共下水道事業に統合したことによりR4年度は使用料収入が増加した。

2. 下水道の役割と経費の負担(1/3)

○ 管理運営費

下水道の果たす役割と経費の負担(R5年度数値・消費税抜き)

雨水の排除	汚水の排除	汚水の処理
生活環境の改善 0円	生活環境の改善 2億8,159万円	公共用水域の水質保全 879万円
浸水の防除 3,104万円	便所の水洗化 0円	汚染の原因者 4億4,711万円

 一般会計(公費負担)

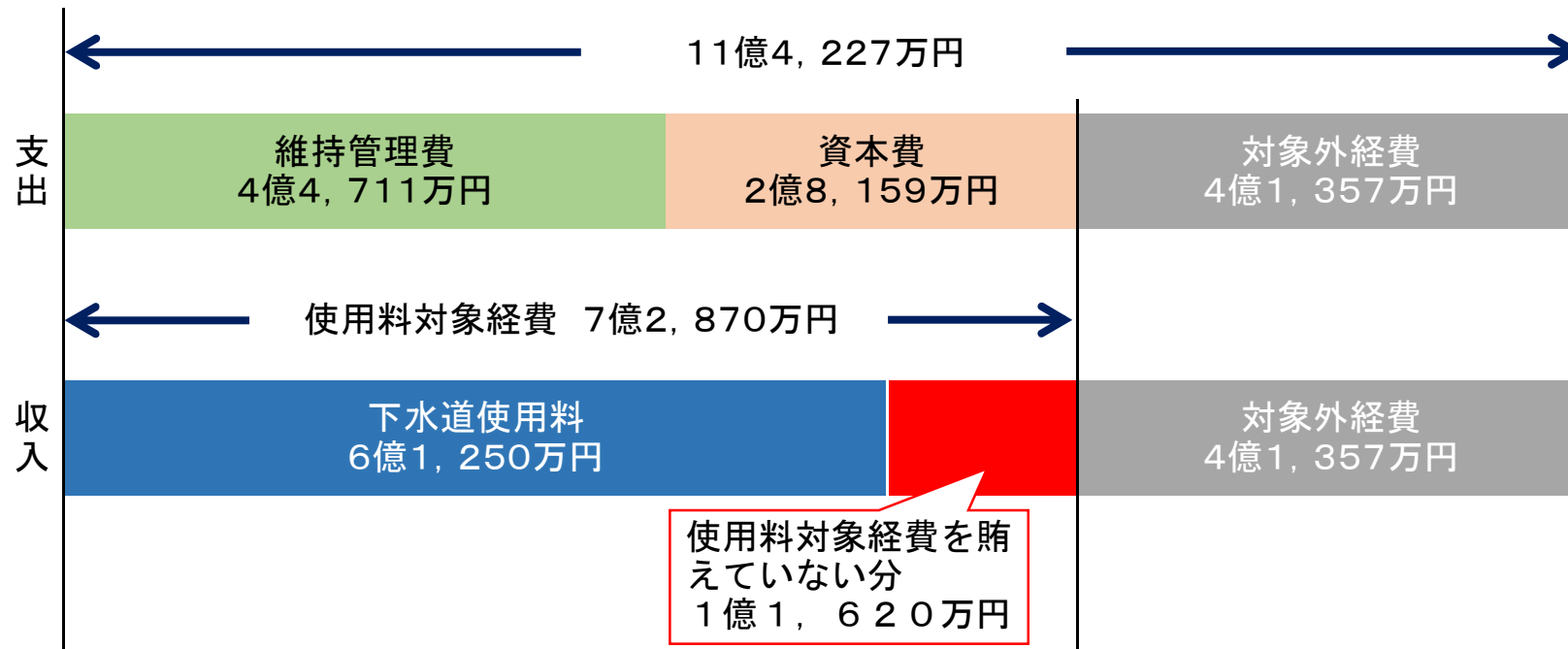
 下水道使用料(私費負担)

⇒ 下水道事業に係る経費の負担区分は、「雨水公費・汚水私費」が原則。

2. 下水道の役割と経費の負担(2/3)

○ 使用料対象経費

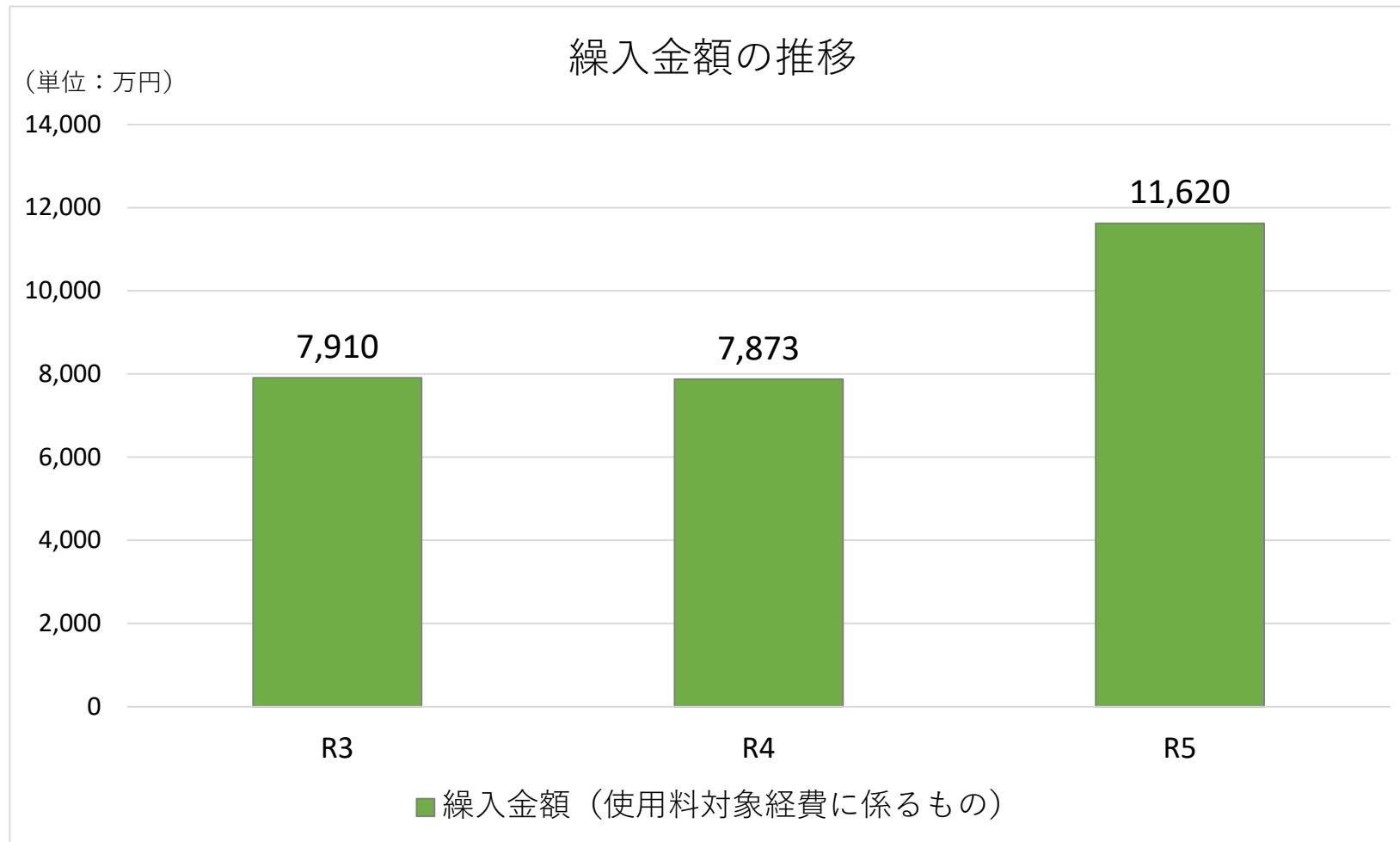
使用料対象経費の算定(R5年度数値・消費税抜き)



経費回収率(84.05%)

= 下水道使用料(6億1,250万円) ÷ 使用料対象経費(7億2,870万円) × 100

2. 下水道の役割と経費の負担(3/3)



3. 豊明市の下水道使用料

○ 現行の使用料体系

下水道使用料(2か月分、消費税別)

基本使用料		従量使用料	
金額		排出量	金額
1,100円	+	20m ³ まで	40円 / m ³
		20m ³ を超え40m ³ まで	100円 / m ³
		40m ³ を超え60m ³ まで	109円 / m ³
		60m ³ を超え100m ³ まで	145円 / m ³
		100m ³ を超え160m ³ まで	160円 / m ³
		160m ³ を超え200m ³ まで	189円 / m ³
		200m ³ を超え600m ³ まで	202円 / m ³
		600m ³ を超え800m ³ まで	207円 / m ³
		800m ³ を超え1000m ³ まで	210円 / m ³
		1000m ³ を超えるもの	228円 / m ³

まとめ

- 水量・人口ともに減少傾向である。
- 汚水処理費は増加傾向である一方、使用料収入は減少傾向である。
- 使用料で賄うべき経費に対して、下水道使用料が不足している。

近隣市町の下水道使用料調べ

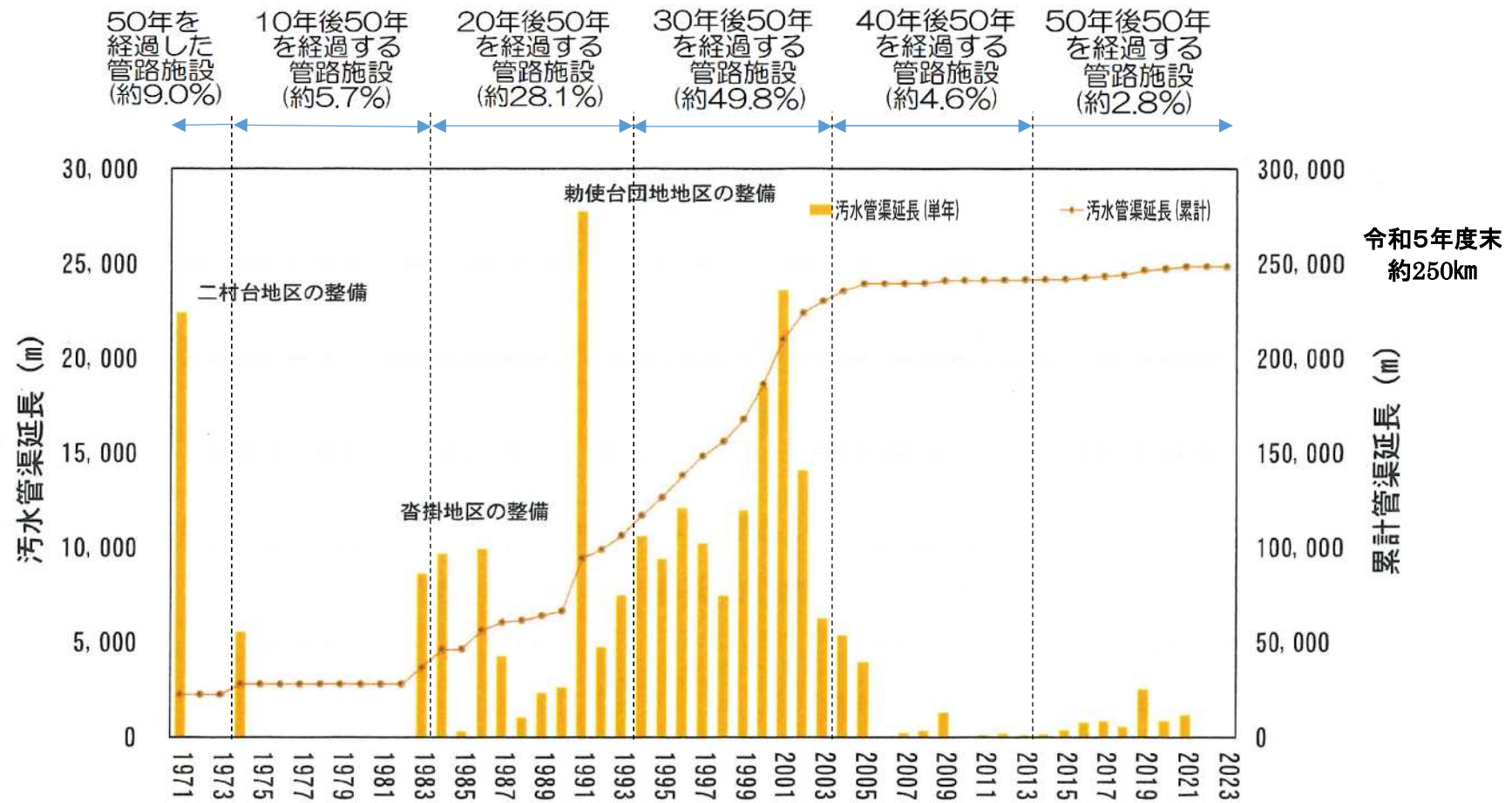
【2か月で40m³使用した場合の下水道使用料】3人世帯モデル

市町名	R6年度		R7年度	
豊明市	¥4,290	②	¥4,290	⑤
日進市	¥4,180	③	¥5,368	①
みよし市	¥3,960	④	¥4,730	④
長久手市	¥4,400	①	¥5,368	①
東郷町	¥3,960	④	¥5,214	③

(囲み数字は、使用料の高い順)

※日進市、みよし市、長久手市、東郷町は、R7年4月から
下水道使用料の改定を決めている。

既存污水管の老朽化



※污水管が老朽化し、20年後には50年を経過する污水管が約42.8%、30年後には92.6%になり、改築・更新する費用が増加する傾向にある。